

■日時 平成30年8月16日(木) ■天候 晴れ 日本ウェルネス高等学校 通信制 対 青森県立北斗高等学校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 2回戦 ■試合時間 2時間26分 ■備考

■審判 球審:小山 塁審:鈴木(礼) 清水 田島

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9					計	安	失
日本ウェルネス・通	東京2	0	0	3	0	1	3	0	0	1					8	11	0
北斗	北東北・青森	0	0	0	0	0	1	0	0	0					1	4	1

日本ウェルネス・通

	ポジション				氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	遊			津澤拓実	6	1	2	1	右飛	二ゴ		三振		右2	二飛		右安				
2	二				小松拓毅	3	1	1	0	死球		二ゴ	四球		中安		三振	死球				
3	一	中			坂元レオ	5	1	1	1	四球		投飛	一ゴ		左2		遊飛	三飛				
4	遊	三	投	三	中山隼	5	1	4	1	中安		左3		三振	中3		中安					
5	中	一			大城海人	3	2	1	1	三振		左2		四球	四球		三振					
6	捕				東龍	5	1	1	1	三ゴ		左安		遊ゴ	三振			三振				
7	左				富山義士	3	1	1	0		二ゴ	死球		四球	右飛			中安				
8	右				金木脩祐	3	0	0	0		三振	一ゴ		三振								
8		右			老田翔	2	0	0	0								投ゴ		投ゴ			
9	三	投	三	投	南馬僚介	3	0	0	0		四球		三振		二飛	二ゴ		死球				
合計						38	8	11	5	残塁:13 併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
津澤拓実
南馬僚介
中山隼
南馬僚介

捕手
東龍

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
津澤拓実	5	16	1	6	0	0
南馬僚介	2/3	2	0	1	0	0
中山隼	2 1/3	10	3	5	0	1
南馬僚介	1	3	0	1	0	0

北斗

	ポジション				氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	三				佐々木快斗	4	1	1	0	一ゴ			三振		右安		一邪					
2	二	遊			阿部夏宇	3	0	2	1	投ゴ			中安		中安							
2			打		有馬光輝	1	0	0	0										三振			
3	捕				芳賀麗児	4	0	0	0	二ゴ			三飛		二ゴ			二直				
4	投	右			赤坂友翼	1	0	0	0		二ゴ		三振			三振						
4			打		高木麻央	3	0	0	0										投ゴ			
5	一				千葉真之介	3	0	1	0		投直			三振		左安						
6	右	二			山田勇希	3	0	0	0		三振			二ゴ		三振						
7	遊	投			清藤裕隆	3	0	0	0			三飛		一飛		三振						
8	左				木津怜巳	3	0	0	0			三振			一ゴ		三振					
9	中				太田来夢	3	0	0	0			三振			三振		三振					
合計						31	1	4	1	残塁:3 併殺:0												
備考																						

■バッテリー

投手
赤坂友翼
清藤裕隆

捕手
芳賀麗児

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
赤坂友翼	5	26	4	6	7	3
清藤裕隆	4	22	7	4	3	4

■戦評

2回戦神宮球場の試合は、1回戦を中盤以降の集中打により逆転で制した日本ウェルネス高校・通信制と3年ぶり21回目出場の北東北地区代表・青森県立北斗高校の対戦となった。試合が動いたのは3回、日本ウェルネスは二死から4番中山の三塁打を皮切りに三連打と暴投により3点を先制すると5回到相手のミスから1点を追加し試合を優位に進める。6回表日本ウェルネスはこの回から救援した北斗2番手清藤を攻め1番津澤が右翼越エンタイトル二塁打を放つと、2番小松が中堅前安打3番坂元は左翼越二塁打4番中山も右中間への適時二塁打と打線が見事につながり4連打で3点を奪い7-0と点差を広げる。反撃したい北斗はその裏簡単に二死を奪われるがここで登板した日本ウェルネス3番手中山から1番佐々木が安打で出塁すると暴投の間に一気に三塁を陥れる。ここで2番阿部が中堅へ適時安打を放つも後続を断たれこの回1点を返すにとどまる。試合は9回にも1点を追加した日本ウェルネスが8-1で勝利しベスト8に進出した。一方敗れた北斗は打線が日本ウェルネス投手陣の前に4安打13三振と完全に抑え込まれ無念の敗戦となった。